

令和4年度 生活環境部「くらしと環境の県民講座」実績と予定

令和5年2月16日時点

事業概要

- 総合計画や環境基本計画等の目標や当部の取組等について、「県民一人一人の理解醸成」及び「県民の取組の実践促進」等を目的に、県職員が団体等に出向き講義
- 特に今年度は、新たな計画のスタートの年。環境審議会にも御協力をいただきながら実施件数の増加を図る。

本年度の実績及び予定

No	方法	対象	人数	タイトル	関連するSDGs項目（主なもの）	実施日
1	授業	会津学鳳中学校	95名	ユニバーサルデザイン	   	5/6
2	講義	福島大学経済経営学類	90名	県の環境施策、ごみ排出量削減、地球温暖化対策	  	6/9
3	授業	福島市立三河台小学校	20名	地球温暖化対策、野生動植物の保護と管理	  	6/24
4	講座	パルシステム福島環境委員会	17名	県の環境施策、エシカル消費、地球温暖化対策	   	9/14
5	イベント	福島民友新聞社イベント (in アクアマリンふくしま)	60名	ふくしまの野生動物の救護の「いま」	 	10/29
6	講義	福島大学環境放射能研究所	5名	県の環境施策、中間貯蔵施設等の現状等	 	11/21
7	授業	福島市立三河台小学校	10名	地球温暖化対策、野生動植物の保護と管理	  	11/24
8	講義	うつくしま地球温暖化防止活動推進員の会 (県北の会)	10名	県の環境施策、ごみ排出量削減	  	12/18
9	特別講座	福島大学食農学類	6名	県の環境施策、ごみ排出量削減、エシカル消費	   	1/20
10	講義	国際情報工科自動車大学校放射線工学科	13名	県の環境施策、ごみ排出量削減、エシカル消費	   	1/23
■ 予定						
11	講演	二本松市役所環境講演会	60名	県の環境施策、ごみ排出量削減、エシカル消費	   	2/18
12	講義	福島県立テクノアカデミー浜	7名	県の環境施策、地球温暖化対策	 	2/22
講座受講者数 延べ			393名	(予定分を含む)		



SDGsって今さら聞けないけどどういう意味？
 どうして今、SDGsが大事なの？
 SDGsに対して私たちは何に取り組めばいいの？



カーボンニュートラルって何？私たちにできることは？
 全国ワースト2位のごみ排出量、私たちはどう取り組めば？
 エシカル消費って耳にするけど、どういう意味？



「SDGs」と「身近な環境」をセットにして、出前講座に伺います。

費用

無料

対象

どなたでも

※ただし営利目的等は除きます。

講師

福島県職員

【令和5年度コラボ出前講座】

SDGs

×

環境

(くらしと環境の県民講座)

活用事例

- ・小・中・高校の授業
- ・大学の講義
- ・事業者の研修
- ・団体の講演会 など

環境テーマ例

- ・地球温暖化対策 (カーボンニュートラル)
- ・ごみ排出量削減
- ・エシカル消費
- ・野生鳥獣対策 など

県民講座のメニュー例

※時間や内容は御相談に応じて変更可能です。

45分コース

おすすめ：小・中学校の授業など

- 基本の話題 (15分)
SDGsについて
- 環境の話題×1 (30分)
①地球温暖化対策

60分コース

おすすめ：企業、団体の研修など

- 基本の話題 (15分)
SDGsについて
- 環境の話題×1～2 (45分)
①ごみ排出量削減
②エシカル消費

90分コース

おすすめ：大学講義、講演会など

- 基本の話題 (15分)
SDGsについて
- 環境の話題×2～3 (75分)
①ごみ排出量削減
②エシカル消費
③地球温暖化対策

本講座をご希望の方は、
 「ホームページ」又は
 「申込書」から申し込みください。

▶ 問合せ先 SDGsに関すること 企画調整部 復興・総合計画課 (024-521-7109)
 環境に関すること 生活環境部 生活環境総務課 (024-521-7156)

「SDGs×くらしと環境の県民講座」申込書

団体等名		メール	
住所		電話番号	
希望時間	45分 ・ 60分 90分 ・ その他 (分)	希望形式	オンライン ・ 会場
希望内容	エシカル消費 ・ 地球温暖化対策 ・ ごみ排出量削減 ・ 野生鳥獣対策 その他 ()		

ホームページは
 ↓こちらから↓



くらしと環境の県民講座

(申込先) 福島県生活環境総務課 企画担当 FAX：024-521-7887 メール：seikatsukankyou@pref.fukushima.lg.jp
 メール申込みの場合、件名を「SDGs×くらしと環境の県民講座」としてください。

福島県